

PTA活動紹介		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立津島東高等学校PTA		部門No. 1
活動テーマ	「きみの可能性は無限大～保護者から子どもたちへのメッセージ～」		
キーワード	キャリア教育	保護者と子どもの対話	保護者の課題意識の共有
開催日	(PTA役員会・理事会) 令和7年5月2日、7月2日、10月9日、令和8年2月3日 (学校祭) 令和7年9月9日・10日・12日・13日		
場所	愛知県立津島東高等学校各教室、各家庭		
時間	PTA役員会・理事会の各開催日は、午後2時～午後4時		
参加者	①全校生徒：684名 ②PTA執筆者：6名 ③PTA進路委員会：12名		
趣 旨	<p>高校生は日々、様々な疑問や悩み・迷いを抱えています。それは現在(いま)に限ったことではありません。保護者である私たちも、高校生の時には同じような思いを抱えています。ただ、昔と違って現在(いま)は、頭に浮かんだ疑問や迷いは、スマートフォン等を用いて指先一つで答えを検索できる時代になっています。しかし、そこから得られた答えは、時として表面的なものであったり、自分にとって耳の痛くない都合のよい情報ばかりであったりします。</p> <p>高校生が抱く疑問や悩みの中には「働くということ」「職業を選択するきっかけ」「学校で学ぶことと社会とのつながり」のような進路に関する事柄もあります。保護者として子どもの将来・進路については日ごろから話をしてはいますが、自分自身が経験した道であれば、生きた言葉で、確信をもって伝えることができます。しかし、経験したことのない学問や職業については、少々心許なくなります。そこで、多方面で活躍されている保護者の皆様に、御自身の経験を『子どもたちへのメッセージ』という形で示していただき、PTA全体として「子どもたちの望ましい勤労観・職業観の育成」「各家庭での対話促進」を図ることを目指しました。</p>		
活動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA役員・理事だけでなく、一般の保護者へも広く協力を依頼する。 ・執筆いただいた文章は、「PTAだより『晨風』」に掲載する。 ・「保護者から子どもたちへのメッセージ」が、どれだけ子どもの内面に働きかけることができたかについて、アンケートを実施し検証する。 		
主体委員会名・講師名等	愛知県立津島東高等学校PTA進路委員会		
【活動の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・2月4日 前年度最後のPTA役員会で実施方針を決定 ・4月23日 本年度最初のPTA役員会で実施方針の確認 ・5月2日 PTA総会で趣旨説明と原稿執筆依頼 *6月6日締切 ・7月2日 PTA進路委員会でPTAだより『晨風』第98号(案)編集作業、アンケート内容検討 ・7月14日 保護者会でPTAだより『晨風』第98号配付、読後アンケート実施 *締切は8月末日 ・9月9・10・12・13日 特別企画「子どもたちを勇気づける一言メッセージ」実施 ・9月12日 PTA進路委員会でアンケート結果の分析 ・10月9日 PTA役員会でアンケート結果の提示 ・11月7日 PTA進路委員会でPTAだより『晨風』第99号(案)編集作業 *アンケート結果まとめ ・12月15日 保護者会でPTAだより『晨風』第99号配付 ・2月3日 PTA役員会で成果検証、次年度の実施方針の検討 		
【総括・反省】	<p>この企画は特別なものではなく、子どもたちの幸せを願う気持ちから始まりました。アンケート結果からは、子どもたちの心に働きかけることができたことが分かります。また、保護者も子どもと進路・職業・将来について話をするきっかけをつくることができたようです。今回は6名の保護者から原稿が寄せられましたが、この成果を次年度以降につなげ、より多くの職業・進路の情報を提供できるよう協力呼びかけたいです。</p>		

【写真1】「きみの可能性は無限大」(PTAだより『晨風』第98号・別冊)



👉今回は、6名の保護者が原稿を寄せてくださいました。文面からは、人生の先輩としての助言、子どもの成長と幸せを願う保護者の想い、そして子どもたちへのエールがあふれていました。

【表1】アンケート結果

	生徒	保護者
家庭で進路や職業について話す機会が	できた	52% 58%
	なかった	48% 42%
進路や職業について考えるうえで	大変参考になった	21% 17%
	参考になった	70% 72%
	あまり参考にならなかった	8% 10%
	参考にならなかった	1% 1%

👉進路や職業について話す機会が「できた」家庭に限定すると、「大変参考になった」は生徒26%・保護者22%になりました。また、そうした家庭では生徒の73%・保護者の76%が「この取組を続けた方がよい」と回答しています。

【読後コメント集】

- 👉「将来何をしたいかがあやふやで困っていました。でも、この文章を読んで今は、やりたいことか、好きなことを見つけようと思うし、勉強に全力で取り組んで視野を広げたいと思いました。」(1年生)
- 👉「自分が苦手だったことを乗り越えて仕事にできることに驚きました。こうした会話を家族ととも増やしていきたいと思います。そして、自分自身が楽しく感じられる仕事に就きたいです。」(2年生)
- 👉「『きみの可能性は無限大』って本当にそうだと思います。高校生の子どもたちには、これから何にでもなれるし、何でもできるんだということをこの冊子を読んで気付いてほしいです。この想いが子どもたちに届くことを願っています。」(3年生保護者)
- 👉「自分の好きなことや、得手不得手を知ることは将来の進路選択に役立ちます。そうしたことを考えるきっかけとなる保護者の経験メッセージは、子どもたちにとって大きな参考になると思います。」(2年生保護者)
- 👉「どのお話も興味深く読ませていただきました。これからの進路や将来の職業について、子どもと一緒に考えていくためのヒントをたくさんいただきました。」(1年生保護者)

【特別企画】「子どもたちを勇気づける一言メッセージ」



👉学校祭(体育祭・文化祭)を參觀された保護者に書いていただきました。保護者からの心温まる一言は、子どもたちの心に響いたようです。これらのメッセージは今、授業後に子どもたちが利用する校内の自習スペースに掲示され子どもたちを優しく、そっと見守り、励ましています。